

ASKレポート

2016年12月19(月)

担当：MS事業部 太田

〒460-0002

名古屋市中区丸の内 3-22-21

損保ジャパン日本興亜名古屋ビル1F

ASK 税理士法人

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

資金繰り対策・金融機関交渉

はじめに

ビズアップ総研主催の「資金繰り対策・金融機関交渉の最新動向とコンサルティングの実務」セミナーに参加しました。新しい融資評価基準についての非常にためになるセミナーでしたので、紹介させていただきます。

事業性評価融資

事業性評価融資とは事業の内容や成長の可能性に対して行われる貸付の事です。今まで銀行の貸付けは財務データと保証・担保で融資の可否を決定していましたが、国から事業としての有望さや成長可能性を評価した融資が行われるように促進していくという方針が出されました。今回はこの事業性評価融資についてお話しさせていただきます。

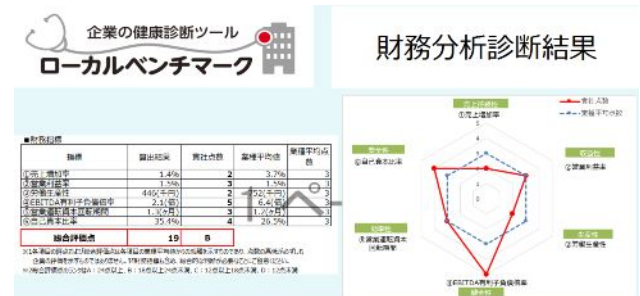
ローカルベンチマーク

ローカルベンチマークとは企業の経営状態の把握を行うためのツールで、事業性評価融資の「入口」として活用される事が期待されるものです。このツールは経済産業省のHPからダウンロードする事ができます。

ローカルベンチマークに自社の借入金や売上高を入力することにより、融資で重要視される6つの指標（①売上高増加率②営業利益率③労働生産性④有利子負債倍率⑤営業運転回転期間⑥自己資本比率）について業種平均とのかい離を把握する

事ができます。

また、4つの視点（①経営者の着目②関係者への着目③事業への着目④内部管理体制への着目）を入力することにより、第三者目線での定性評価を行うことができます。



RESASの活用

事業性評価融資では地域実態の把握も大切です。検索サイトで「RESAS」と検索してみましょう。RESASは産業構造や人の流れなどのビッグデータを地域ごとに把握する事が出来るツールです。「この県への観光客の7割はこの場所に訪れる。それも夕方に訪れる事が多いので、その近くに観光客が喜ぶ地元の料理をふんだんにつかった居酒屋を開こう。」などと経営戦略を建てるのに役立ちます。金融機関に経営計画を説明する時もこのようなデータがあれば説明に説得力が増します。

最後に

事業性評価融資は残念ながらまだ末端の銀行支店までは考えが浸透していません。しかし国が強力に推している政策なので、いずれ身近なものになることでしょう。